

令和 4 年 度 研修実施結果報告

- I 研修講座事業
 - 1 概要
 - (1) 研修講座改善の方針
 - (2) 研修講座の主な変更内容
 - 2 実績
 - (1) 講座数・受講者数
 - (2) 令和 4 年度に開催した研修講座一覧
 - 3 成果と課題
 - (1) 成果
 - (2) 課題
- II 教育研修員研修事業
 - 1 概要
 - 2 実績
 - (1) 研修員数
 - (2) 研究領域等
 - 3 成果と課題
 - (1) 長期研修
 - (2) 長期社会体験研修
 - (3) 特別研修
- III その他（出前講座による研修支援）
 - 1 実績
 - 2 成果と課題

令和 5 年 4 月 2 0 日
群馬県総合教育センター

I 研修講座事業

1 概要

群馬県教員育成指標を踏まえて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づき、「令和の日本型学校教育」を担う教職員の資質能力の向上に資する研修を実施した。

(1) 研修講座改善の方針

- ICT活用の特性・強みを生かした学習指導要領の趣旨の実現に向けた教職員の指導力向上を図る。
- 国や県の動向、今日的な教育課題に対応した研修の充実を図る。

(2) 研修講座の主な変更内容

① 基幹研修

- 1人1台端末の導入・活用による実践事例を踏まえ、ICT活用指導力向上に係る研修内容を充実させた。
- リーガルマインドを尊重した教育公務員を育成するため、関係法規を取り入れた研修内容を充実させた。
- 「中堅学校栄養職員資質向上研修」は、隔年実施のため令和4年度は実施しなかった。

② 指定研修

- 管理職や主事・主任が職場のコンプライアンス意識の醸成のための体制づくりを行うことができるよう、教育法規に関する内容をより充実させた。
- 「特別支援学校主任寄宿舎指導員研修」は、隔年実施のため令和4年度は実施しなかった。
- 「高校道德教育実践研修」は、高校教育課主催の高校道德教育連絡協議会と内容が重複するため、廃止した。

③ 希望研修

- ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた教職員の指導力向上
 - ・ 1人1台端末の導入・活用による実践事例を踏まえ、「授業にICTを活用して指導する能力」「児童生徒のICT活用を指導する能力」等の向上に係る研修内容を充実させた。
- 児童生徒の自死防止に向けて、児童生徒が発するこころのSOSに気づき、声を掛け、話を聴き、必要な関係者につなげ、見守ることができる教職員を育成するために、「ゲートキーパー養成研修講座」を新設した。
- 「特別支援学級基本研修講座」は、指定研修「特別支援学級新任者研修」と統合した。
- 次の9講座について、オンデマンド用コンテンツとして同内容の講義動画をセンターWebサイトに掲載した。

「はばたく群馬の指導プランⅡ研修講座」「特色ある高校教育推進研修講座」

「カリキュラム・マネジメント推進研修講座」「学校組織マネジメント推進研修講座」

「若手教職員のための学校運営参画研修講座」「学校経営ステップアップ研修講座」

「『チームとしての学校』推進研修講座」「教職員多忙化解消推進研修講座」

「地域とともにある学校づくり研修講座」

④ 公開講座

- 持続可能な開発のための教育（E S D）に関する研修内容の充実
 - ・ 持続可能な社会の構築を目指して、自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力をもった「始動人」の育成について考える公開講座「SDGs の実現を目指した人材育成セミナー」を新設した。

⑤ その他

- ハイブリッド型研修の推進（深化）による受講環境の充実
 - ・ 令和3年度の各研修講座の運営状況を踏まえて、集合研修とオンライン研修のそれぞれの有効性を検証して最適化された受講形態による研修を実施した。発言や意見の共有が容易であること、主体的な参加を促すことが可能であることなどの優位性を生かし、ライブ配信（双方向）によるオンライン研修を積極的に導入した。マインド醸成、チームビルディングやエンゲージメントの強化、「仲間と協調して取り組む」等の能力の開発に力点を置いた初任者及び新規採用者研修、管理職研修、実習を伴う研修等は集合研修を中心とした。
- サテライト方式による研修の廃止
 - ・ センターで実施している研修講座の一部を所外で実施するサテライト方式については、ライブ配信（双方向）によるオンライン研修の導入に伴い、研修支援隊に統合した。
- オンデマンド用コンテンツの充実
 - ・ 教員育成指標の項目、各キャリア段階等に応じた動画を作成・集約し、センターWebサイトに掲載した。時間と場所に制約されることなく、自律的かつ継続的に学ぶことができるようにした。

2 実績

(1) 講座数・受講者数

() 内は令和3年度

	講座数	開催日数	研修日数	受講者数	受講対象
基幹研修	26 (27)	195 (192)	171 (170)	1,638 (1,723)	経験年数に応じて受講
指定研修	21 (22)	38 (38)	36 (36)	915 (1,056)	職種・職務に応じて受講
希望研修	48 (57)	131 (162)	122 (160)	1,183 (1,311)	教職員の希望者が受講
公開講座	3 (2)	3 (2)	3 (2)	37 (12)	一般県民を含む希望者が受講
全 体	98 (108)	367 (394)	332 (368)	3,773 (4,102)	

※令和4年度の受講者数については、申込数に対して重複を除外して算出している。

(2) 令和4年度に開催した研修講座一覧

① 基幹研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	幼稚園等新規採用教員研修	10	10	156
2	小・中学校初任者研修	25	14	204
3	高校初任者研修	19	17	45
4	特別支援学校初任者研修	21	18	46
5	新規採用養護教員研修	11	11	15
6	新規採用学校事務職員研修	8	8	11
7	県立学校新規採用実習教員研修	6	6	1
8	小・中学校2年目経験者研修	3	1	182
9	高校2年目経験者研修	2	2	48
10	幼稚園等3年目経験者研修	2	2	29
11	高校3年目経験者研修	4	4	37
12	特別支援学校3年目経験者研修	5	5	44
13	学校事務職員3年目経験者研修	5	5	13
14	小・中学校4年目経験者研修	5	4	215
15	幼稚園等5年経験者研修	3	3	27
16	小・中学校6年目経験者研修	8	5	181
17	高校6年目経験者研修	5	5	54
18	特別支援学校6年目経験者研修	4	4	31
19	養護教員6年目経験者研修	4	4	5
20	県立学校実習教員6年目経験者研修	3	3	4
21	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	8	8	12
22	小・中学校中堅教諭資質向上研修	10	8	153
23	高校中堅教諭資質向上研修	8	8	83
24	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	8	8	26
25	中堅養護教員資質向上研修	7	7	9
26	県立学校中堅実習教員資質向上研修	1	1	7
合計	基幹研修（26講座）	195	171	1,638

② 指定研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	新任幼稚園等園長研修	2	2	12
2	新任校長研修	3	3	106
3	新任副校長・教頭研修	3	3	119
4	新任事務長研修	2	2	22
5	新任幼稚園等副園長・教頭研修	1	1	3
6	新任特別支援学校部主事研修	2	2	8

7	新任教務主任研修	1	1	26
8	新任生徒指導主事研修	1	1	45
9	新任進路指導主事研修	1	1	24
10	新任学年主任研修	1	1	88
11	新任高校特別支援教育コーディネーター研修	1	1	19
12	新任事務長代理・副主幹研修	2	2	12
13	新任事務主任研修	3	3	22
14	新任栄養教諭研修	2	2	2
15	特別支援学校新任者研修	1	1	9
16	特別支援学級新任者研修	5	4	85
17	通級指導教室新任者研修	2	2	37
18	県立学校公仕研修	2	1	75
19	特別支援学校寄宿舎指導員研修	1	1	50
20	始動人育成に向けたキャリア教育実践研修	1	1	67
21	高校主権者教育実践研修	1	1	84
合計	指定研修（21 講座）	38	36	915

③ 希望研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	国語科研修講座	1	1	20
2	算数・数学科研修講座	2	2	29
3	社会科・地歴公民科研修講座	2	2	10
4	理科研修講座	4	4	18
5	音楽科研修講座	1	1	21
6	図画工作科・美術科研修講座	2	2	23
7	体育科・保健体育科研修講座	4	1	0
8	安全な柔道授業づくり研修講座	1	1	7
9	技術科研修講座	3	3	5
10	家庭科研修講座	1	1	14
11	共通教科情報研修講座	4	4	10
12	道徳科授業づくり研修講座	1	1	15
13	小学校プログラミング教育研修講座	5	5	12
14	高校英語科研修講座	2	2	24
15	小学校外国語活動・英語科研修講座	1	1	25
16	中学校英語科研修講座	1	1	19
17	特別支援学校部主事研修講座	1	1	12
18	教務主任研修講座	1	1	18
19	進路指導主事研修講座	1	1	6
20	保健主事研修講座	1	1	14

21	学年主任研修講座	1	1	15
22	研修主任研修講座	1	1	38
23	小学校教育指導力向上研修講座	1	1	7
24	道徳教育推進教師（道徳主任）研修講座	1	1	7
25	進路実現をサポートする教科指導力向上研修講座	5	5	14
26	幼児教育研修講座	1	1	58
27	健康教育研修講座	12	12	16
28	学校事務職員スキルアップ研修講座	7	7	120
29	専門性を高める学校図書館担当職員研修講座	1	1	12
30	見る・触れる・体験する環境教育研修講座	1	1	8
31	高校専門教育研修講座	8	3	49
32	ICT 活用指導力向上研修講座	7	7	47
33	理科実習教員研修講座	1	1	6
34	特別支援教育充実研修講座	3	3	58
35	発達障害児学習支援研修講座	2	2	104
36	心理検査研修講座	1	1	38
37	いじめ・不登校等問題対策研修講座	1	1	21
38	高等学校探究活動推進研修講座	1	1	21
39	外国人児童生徒等の担任等研修講座	1	1	15
40	食育研修講座	2	2	8
41	ぐんま教職員キャリアアップ研修講座	2	2	15
42	学校安全研修講座	6	6	5
43	中学校免許外教科担当教員研修講座	1	1	18
44	異校種異動に伴う高校教科指導力向上研修講座	10	10	0
45	高校・特別支援学校臨時的任用教員及び非常勤職員研修講座	2	2	19
46	教育相談初級研修講座	6	6	89
47	教育相談中級研修講座	5	5	55
48	ゲートキーパー養成研修講座	2	1	26
合計	希望研修（48 講座）	131	122	1,183

④ 公開講座

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	始動人育成に向けたキャリア教育を考える	1	1	6
2	外国人児童生徒等に対する教科指導研修講座	1	1	18
3	SDGs の実現を目指した人材育成セミナー	1	1	13
合計	公開講座（3 講座）	3	3	37

3 成果と課題

(1) 成果

- 初任段階の研修の連続性や経験年数の段階性を踏まえ、教科指導や学級経営等の課題解決を図り、実践的指導力を高めることができた。
- 初任者及び新規採用職員研修において、必要な研修内容を整理・精選したことにより、受講者が効率的・効果的にスキルを習得することができた。
- 中堅教諭等資質向上研修や希望研修において、学校運営の中核的な役割を担う教員としての視野を広げる内容の講座を実施することができた。
- 「ゲートキーパー養成研修講座」「SDGsの実現を目指した人材育成セミナー」などの今日的な教育課題に対応した研修を実施し、受講者の職種・職務に対応した資質能力の向上に寄与することができた。
- ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた教職員の指導力向上に向けて、1人1台端末の導入・活用による実践事例を踏まえ、「授業にICTを活用して指導する能力」「児童生徒のICT活用を指導する能力」等の向上に係る研修内容を充実させることができた。
- 研修講座の実施にあたり、県のガイドラインを参考に作成した「新型コロナウイルス感染症に対応した研修講座等の運営に関するマニュアル」に基づき全所体制で研修講座の運営に努め、感染症対策を徹底し、全研修を終了することができた。

(2) 課題

- 教職員の着実なキャリア形成を推進するため、経験年数や校種に応じた研修だけでなく、「群馬県教員育成指標」で求められるステージごとの資質能力との関連を踏まえた研修内容の更なる充実を図る必要がある。
- 研修講座の中で、受講者の実態を把握し、学校現場での不安や困り感、課題等を解消できるよう支援する必要がある。
- 体系的・計画的な学びへの支援として、センターWebサイトに掲載した、キャリア段階・教員育成指標に応じた研修・学習コンテンツ一覧などの資料を絶えず更新・整理し、自律的に学ぶ教職員と指導助言を行う管理職を支援する必要がある。
- 基幹研修において、リーガルマインドを尊重した教育公務員を育成するため、関係法規を取り入れた研修内容を充実させる必要がある。
- 学校組織としての持続可能な開発のための教育（ESD）の推進を目指し、ESDが学習指導要領全体の基盤となる理念として組み込まれていることを理解するなど講義内容を充実させる必要がある。
- 日本語指導が必要な児童生徒等への組織的かつ体系的な指導の推進のため、多文化共生・共創の考え方に基づく教育や、学校における日本語指導の体制構築に関する講義内容の充実を図る必要がある。
- 管理職・ミドルリーダーの「アセスメント能力」「ファシリテーション能力」向上に向けて、人材育成についての協議・情報交換の場を取り入れたり、校内研修や授業研究のもち方を工夫で

きるよう、学校教育課題や教員のニーズを踏まえた研修・研究テーマの設定や定期的な授業観察及び指導助言などの適切な関与について扱ったりする研修内容の充実が必要である。

Ⅱ 教育研修員研修事業

1 概要

教員の資質能力の向上を図るために、教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研究、及び長期社会体験による研修を行い、優れた識見と指導力を身に付けた教育活動の推進者を育成した。長期研修、長期社会体験研修、特別研修の3種類の研修を実施した。

＜研修別基本方針＞

区 分	基 本 方 針
長 期 研 修	本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導・助言力を高めるとともに、研究協力校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
長期社会体験研修	企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
特 別 研 修	授業・保育実践を通して、教科等の指導力を高めるとともに、研究協力校や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 実績

(1) 研修員数

	幼稚園	小学校	中学校	義務教育 学 校	中等教育 学 校	高等学校	特別支援 学 校	合計
長期研修	0	7	5	0	0	2	1	15
長期社会体験研修	0	0	0	0	0	2	0	2
特別研修	0	16	13	1	0	10	2	42
計	0	23	18	1	0	14	3	59

(2) 研究領域等

① 長期研修の研究領域

研究領域	人数	研究領域	人数
国語	1	道徳	1
社会、地歴、公民	2	特別支援教育	2
算数、数学	1	生徒指導、教育相談	2
理科	1	I C T活用教育	2
外国語、外国語活動	1	高校教育の改善	2

② 長期社会体験研修における研修先企業

研修先企業	人数
株式会社SUBARU	1
株式会社ヤマト	1

③ 特別研修の研修領域

研究領域	人数	研究領域	人数
国語	5	農業	1
社会、地歴、公民	5	工業	1
算数、数学	4	商業	1
理科	3	道徳	2
音楽	3	特別活動	3
体育、保健体育	4	特別支援教育	2
家庭、技術・家庭	2	生徒指導、教育相談	2
外国語、外国語活動	3	多文化共生教育	1

3 成果と課題

(1) 長期研修

① 成果

- 今日的な教育課題の解決に向けた研究を通して、提案性のある教材や指導資料を開発し、授業実践に結び付けることができた。
- センターにおける様々な検討会や、研究協力校の校内研修に積極的に参画し支援することにより、研修員の指導・助言力を高めることができた。
- 高校教育の改善に関する研究では、観点別学習状況の評価の確実な実施を目指すため、「実践レポート」という様式を開発することができた。その上で、研究協力校において「実践レポート」を活用することで、指導と評価の一体化の更なる充実を図ることができた。また、「実践レポート」を集積したものを事例集としてまとめ、県内各校へ配布することができた。
- 理科に関する研究では、宇宙教育について取り上げ、JAXA宇宙教育センターや県内の関係機関の教材等を小・中学校理科の単元ごとにまとめ、活用例などを加えた「ぐんま宇宙教育パッケージ（理科）」を作成することができた。また、三回の授業実践を行い、その有用性を明らかにすることができた。

② 課題

- 国・県の教育課題の解決に向けて教材開発研究や授業研究等の更なる充実を図ることにより、研究成果を積極的に県内の学校等へ普及していく必要がある。

(2) 長期社会体験研修

① 成果

- 企業等における1年間の研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高め、キャリア教育の中核的な役割を担うことができる必要な知見を得ることができた。
- 企業等での体験を生かした研究協力校における授業実践や、研修成果をまとめた「キャリア教育リーフレット」の発信など、県内のキャリア教育の推進に寄与することができた。

② 課題

- 本県のキャリア教育の更なる充実のため、実践内容やリーフレットの活用を一層推進する必要がある。

(3) 特別研修

① 成果

- 授業を公開したり実践の成果を発信したりすることを通して、研究協力校や地域の教職員の教科等の指導力向上に寄与することができた。
- 「はばたく群馬の指導プランⅡ」に基づく授業構想や、模擬授業、授業実践を繰り返しながら授業改善を図り、教科等の指導力を高めるとともに、各実践が指導プランの活用例の一助とすることができた。

② 課題

- 授業構想の検討や実践授業の検証を一層充実させ、教科等の指導力を更に高め、より質の高い授業につなげていくことが必要である。

Ⅲ その他（出前講座による研修支援）

1 実績

各学校園、教育委員会や研究所等からの要請を受けて、各種研修会などに指導主事を「研修支援隊」として派遣し、授業研究会での指導助言やワークショップ等の研修支援を行った。参加した教職員の総数は1,356名であった。

分類	件数
幼児教育	0(0)
授業改善	23(37)
生徒指導・教育相談	0(10)
特別支援教育	10(1)
情報教育	1(14)
学校・学級経営	5(1)
その他	1(0)
総計	40(63)

対象（校種等）	件数
幼稚園等	0(1)
小学校	21(7)
中学校	4(3)
義務教育学校	0(0)
高等学校	9(35)
中等教育学校	1(0)
特別支援学校	1(5)
教育委員会等	4(12)
総計	40(63)

地域等	件数
中部教育事務所管内	11(6)
西部教育事務所管内	3(6)
吾妻教育事務所管内	0(0)
利根教育事務所管内	2(5)
東部教育事務所管内	15(12)
県立・組合立学校	9(33)
その他	0(1)
総計	40(63)

2 成果と課題

- 学習指導要領を踏まえた観点別評価、指導と評価の一体化についての講義など、各学校園等のニーズに応じた研修支援を行うことができた。また、市町村教育委員会向けに1人1台端末の効果的な活用や校務の効率化に向けて市町村教育委員会毎にカスタマイズした研修支援を行うことができた。
- 各学校園や市町村教育委員会と連携を図りながら、研修支援隊の実施日や回数等の調整を行い、学校園の要望に応じた研修を実現できるようにしていく必要がある。